

現病院建物の活用について

練馬区では、今後人口構造が大きく変化すると推計されており、この変化に伴い、必要となるサービスの範囲や量が変わっていくことが予測される。こうしたニーズの変化を考慮し、現病院建物の活用について以下に3つの方向性を示した。

	医療を中心とした 相互補完および連携	介護を中心とした 相互補完および連携	コミュニティ機能の充実による 相互補完および連携
新病院の役割	急性期医療	回復期リハビリテーション機能	地域包括ケア機能
現病院建物の 基本コンセプト (案)	新病院(医療)の機能補完及び連携により、医療・介護サービスを受けながら安心して暮らせる街づくり		
建物活用の方向性 (案)	在宅復帰支援を中心とした 医療機能の補完	介護サービス全般の充実化	同世代および世代間の コミュニティ醸成
整備する機能例 (案)	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーション ・訪問リハビリテーション ・デイケア ・回復期リハビリテーション病床 ・地域包括ケア病床 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーション ・訪問リハビリテーション ・ショートステイ ・特別養護老人ホーム(特養)等の 介護保険施設 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティラウンジ ・キッズスペース <p style="text-align: right;">など</p>